

コロナ禍でも活動可能な取組で、校内と田布施町を元気にしよう

田布施町立田布施中学校 校長 濱田 匡弘
グリーン・ネット田布中 代表 中村 享郎

年度当初は活動名を「本校マスコットキャラクターをデザインしたのぼり旗のもと、あいさつ運動や地域清掃などの地域活動への参加や、小学生との交流などにより、田布施町を元気にしよう」とし、生徒会役員と地域の方が協同で行うあいさつ運動、地域清掃への中学生の参加、部活動生徒が各小学校に出向いての交流などの活動を考えた。その際、本校マスコットキャラクターをデザインしたのぼり旗を積極的に設置し、地域活性化の一助になればと構想した。しかし、新型コロナウイルスは本年度さらに感染が拡大し、いずれも開催することができなかった。

そのため、本報告書においては、「コロナ禍でも活動可能な取組で、校内と田布施町を元気にしよう」と題し、令和3年度の取組を報告する。

1 「シアター“ゆめ”」様との交流

学校運営協議会委員の方が会員で、田布施町でパネルシアター上演などの活動をされておられる「シアター“ゆめ”」様から声をかけていただき、本年度から1か月に2日程度、昼休みに来校していただけることになった。毎回10名程度の希望生徒が参加し、パネルシアターについての説明を聞いたり、実演を鑑賞させていただいている。12月には、暗くした教室で雰囲気を出しながら、光る素材によるクリスマスに関する実演を鑑賞させていただいた。生徒からは、「優しく教えていただいた」「昔、読んだことのある話を楽しく見させていただいた」「会員の方のお話を聞き、優しい気持ちになることができた」などの感想があった。会員の方からは、「中学生が真剣に聞いてくれ、とてもやりがいを感じた」「興味をもった生徒さんが次回も来てくれたときは、とてもうれしかった」など、生徒にとっても地域の方にとっても、相互により影響を与える取組となってきている。今後は、さらに生徒が興味をもち練習し、生徒による実演が行えたり、また実演を地域の集まりなどで実施できたりという形で発展していけばよいと考えている。



2 田布施町ボランティア連絡協議会様による「シトラスリボン作成」を生徒が手伝い、町内全小中学校児童生徒と教職員、全公民館などに寄贈

「シトラスリボン」の作成は愛媛県からはじまったプロジェクトで、新型コロナウイルスに感染しても偏見や差別のない暮らしやすい社会を目指すものと聞いている。田布施町においても、そのような社会を目指していこうと、田布施町ボランティア連絡協議会の皆さんが作成を始められた。その作業の途中に、会員のお一人である本校学校運営協議会委員の方が、作成作業の一部でも中学生の有志と協働できれば、さらに実りのある取組になると考えてくださり、本校に声をかけていただいた。7月5日(月)から8日(木)の昼休みに田布施町ボランティア連絡協議会の皆さんが来校されることとなり、生徒有志のべ50名が集まり、シトラスリボンを袋に詰める作業を手伝わせていただいた。生徒からも地域の方からも、「ありがとう」という言葉が何度も飛び交う、すてきなひとときを過ごす場となった。生徒からは、「リボンをもらった人が元気になれる、そんな機会を与えていただきうれしかった」「地域の人に教えていただき、役に立ててよかった」「作業をして、会員の方から喜んでいただき、思わず、ありがとうございますと何度も言っていた」などの感想があった。会員の方からは、「中学生が熱心にたくさんの作業をしてくれ、ありがたかった」「ニコニコして聞いてくれるので、丁寧に優しく教えないといけないという気持ちになった」「校舎は変わったが、母校の田布施中学校に数十年ぶりに入ることができてうれしかった」などの声をいただいた。学期末の忙しい時期ではあったが、生徒も会員も心あたたまる取組となった。

その後、会員の方が仕上げの作業を行われ、7月19日(月)に、田布施町ボランティア連絡協議会および田布施中学校生徒有志から、町内小中学校全児童生徒および教職員への寄贈式という場も設けていただいた。式には生徒会執行部生徒が参加し、誇らしい表情が印象的であった。



3 「背景パネル」の作成

新型コロナウイルス感染対策を徹底した状況での地域との交流に関する取組については、上記のように屋内で少人数での活動をいくつか実施することができた。屋外においても、不特定多数が集まったり、大きな声を出したりする活動は実施することができなかった。上記のような寄贈式や地域諸団体からの表彰の場、また、地域へ発信する屋内での学校行事、文化祭や生徒総会、生徒会役員選挙の立会演説会など、ほぼリモートによる開催になった。その際、バックはカーテンや日常のものであり、何か工夫ができないかと考えていた。今後も、このような形での取組を進めるしかない現状で、本校の取組をさらにアピールするには、企業や行政、田布施町役場も作成され記者会見で使用されている「背景パネル」を作成し、さまざまな活動のバックに掲示することが1つの方法と考え、助成金を活用して作成させていただいた。「校名」、「校章」、そして本校のマスコットキャラクターである「たくまる」を配置し、スクールカラーである緑色をメインとしたデザインとした。今後は、本パネルを最大限活用し、コロナ禍における行事や地域との連携活動の実施方法を検討していきたい。

